古くは四百年以上
続く名家の分家
僕、王林ヘイスケは
そこに生まれた

いずれは
家督を継ぐ立派な
後継者になるべく
――――

今日も朝寝坊を
決めている

あ～もうっ
さっき叩き
起こしたのに
また…

こおら
起きろ～っ

うっ

しかし
それは従者が
それを許さない…

やっと起きたっ

ったく
しっかりしてよね
アタシの当番の日に
遅刻したら

アタシのせいに
なるんだからっ

うう…
真冬……

早く顔洗えっ

どうやら今日は
ハズレの日
のようだ…

着替えっ

歯磨きっ

ご飯っ

一秒でも
遅れたら許さ
ないんだからねっ


ごめ～ん
アタシだと
甘えちゃって
あら？
真冬ちゃん
朝から愛され
マウントかしら？
日向姉
そういう話を
してる訳ではない
だが
たるみ過ぎだぞ
真冬
何で
アタシのなのよ
桜花姉
物心付いた頃から
僕の側には
四人の従者がいる
うちの時の方が
もっと
甘えんぼさんやで
喧嘩売ってんの？
紅葉


見慣れた登校風景
それでもやはり
周りの注目を集める
でさ～
ほんま～？
また…
見られてる…
何だ？
あれっ？
おっぱいに
囲まれやがって…
ハイレベル
美女四人侍らせて
登校とか大名かよっ



ほら
ヘイスケ
お弁当っ

言っとくけど
アタシのお弁当の
あまりで作ったから
期待しないでよね

って――

何でもう
食べてるのよ～

どおかしら？
ヘイスケちゃん♥

今日のは
自信作なの

私のも
自信作だ
食べてみてくれ

へーちゃん
うちのも
美味いでぇ♥

今日はアタシの
当番の日
でしょっ？

やって真冬ちゃん
いつもめんどそうに
ボヤいとったやん

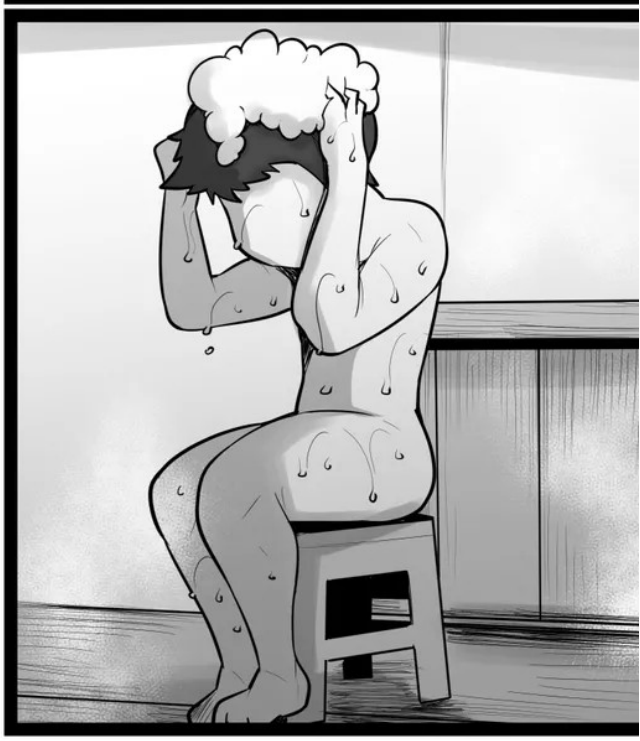
無理は
良くないわよ
真冬ちゃん

当番だからと
言って気を張る
必要はないぞ
真冬

……


放課後
音
げ…
ゲームセット
雪城さん
今日は気合
入ってるねぇ…
気合というか
憎悪めいたものが…






へ…
ヘイスケ…
ひ…
久しぶりに
背中流すわよ…


な…なによ？
ほんの五年前
くらいは
いつも洗って
あげてたじゃない
え…いや…
そうだけど


五年前とじゃ
いろいろと全然違…
なによ…？
早く背中
向けなさいよ


今日の真冬…
なんだか変だぞ
今日は
もう寝よう…
お布団…
温めといたわよ
あ…ヘイスケ…
つ!?
あっ
ヘイスケっ？
ぼっ僕も
上がるよっ
次は前…ね…
はいいっ!?
おっぱいの…
気配が…
おっぱいの…


あれ…
なんで僕…
真冬と一緒に
寝てるんだ??
確かに
昔は真冬達と
一緒に寝てたけど…
ヘイスケ…?
眠れないの?
ほら
こうしたら…
どう…?
真冬の良い匂いと
心地いい感触と鼓動
懐かしい感覚に
包まれながら
僕は眠りについた

彼女たちに
接していると
いつも思う

僕はなんて
幸せ者何だろうと

話は
聞いております

はい
父より
将来家督を
継ぐ者として

環境を変えて
見聞を広めよと
言われまして

一か月間
とのことでしたね
よろしく
お願いいたします。

学校の編入は
もうお済みですか？

はい

義兄様と同じ
学園の中等部に
編入いたしました

本日から
よろしく
お願いします♥

義兄様♥

本家の
御達しにより
一か月

本家のご子息
王神ゴウタと

生活を
共にすることに
なった


今日から御一緒に登校させていただきます
義兄様
ゴウタ君年下だけど本家の人間だからな…
う…うん…
どう接するべきか…
それにしても義兄様は羨ましいですね
え？
こんなに美しい従者が側にいてくれるなんて
えっ!?あっちょっ!?
っ!?
ごめんなさい紅葉さんぼく下着忘れてしまって
ちょっ開けんといてっ
ひゃっ!?
あ♥ごめんなさい日向さん♥
足が滑ってしまって♥
同居早々ゴウタのセクハラじみたスキンシップは真冬たち従者を悩ませる
桜花さんは安産型ですね♥
コイツいつの間にっ!?

ったく
何なのっ？
あのエロガキ…

本家の方じゃ
無ければ…
今頃真っ二つに
しているのに…

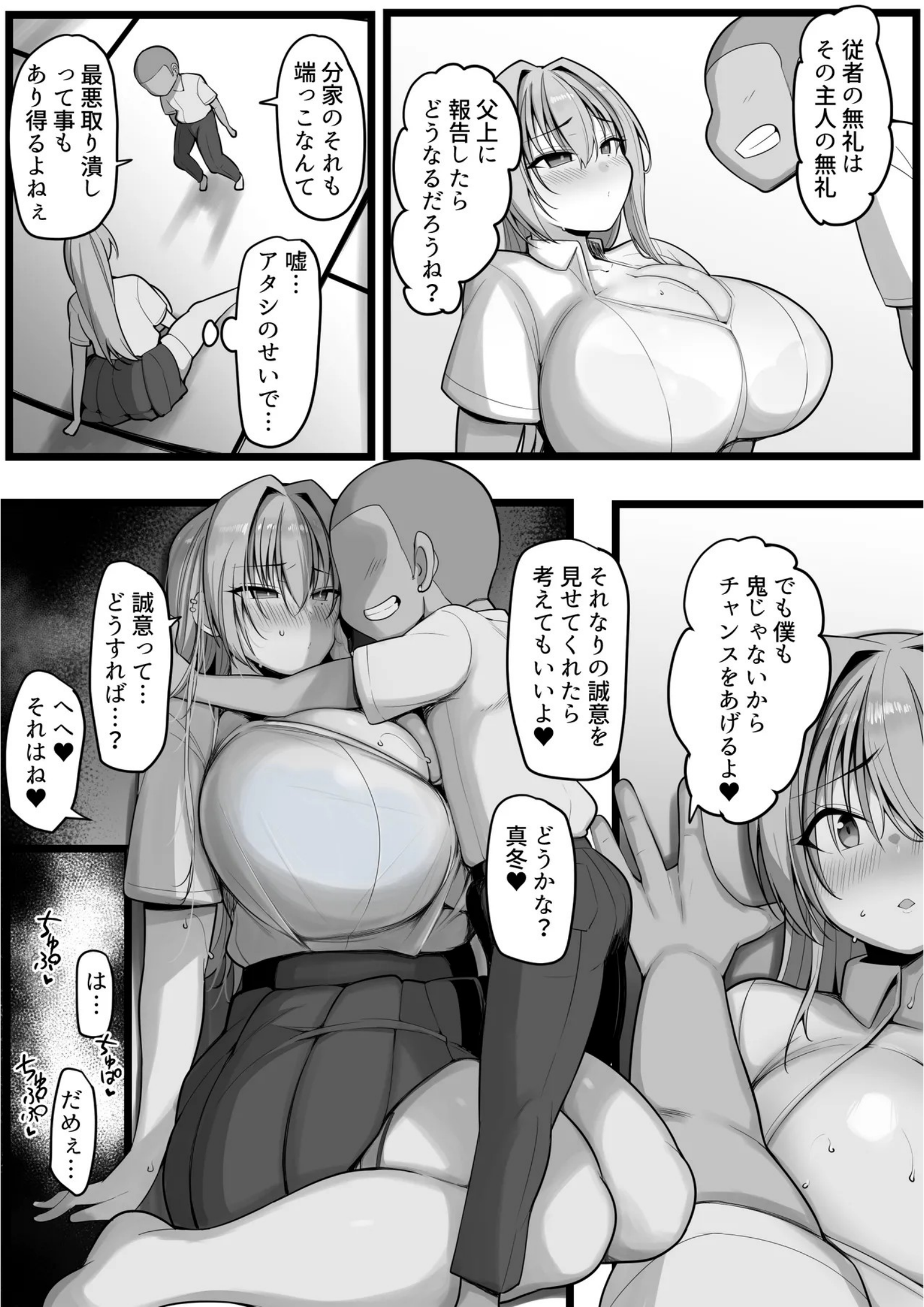
まあまあ
落ち着きや
気持ちは
わからんでも
ないけど

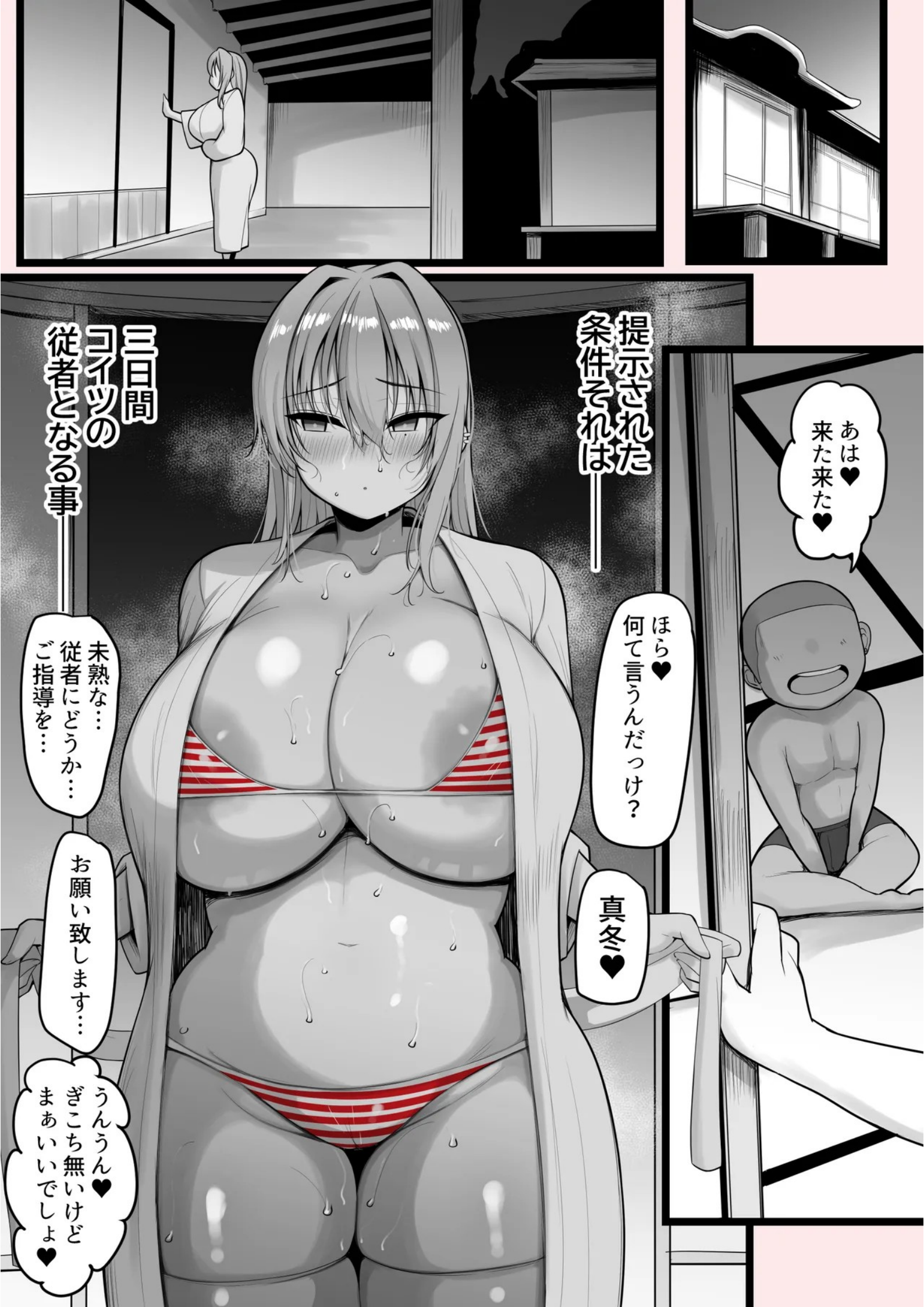
だかあれでも
本家の者だ
一か月耐えるしか
あるまい
しかし文言や手口が
なんとも親父臭い…




あは♥
重くて
柔らかぁい♥
我慢よ…
我慢…
ネクタイ
締めますね～♥
ぎゅ～と♥
がまん…
おっぱい♥
おっぱい♥
っんた
いい加減んにっ…
や
こ


しろおおおおおおいつつ!!
あ…
やっちゃった…
いてて~
ダメでしょ~
従者が客人に
手を上げるなんてさ~
これは王林家当主の
ヘイスケ義兄様
監督責任だよ~
まっまって
ヘイスケは関係ないわっ
大体アンタがっ


従者の無礼は
その主人の無礼
父上に
報告したら
どうなるだろうね？
分家のそれも
端っこなんて
最悪取り潰し
って事も
あり得るよねぇ
嘘…
アタシのせいで…
でも僕も
鬼じゃないから
チャンスをあげるよ♥
それなりの誠意を
見せてくれたら
考えてもいいよ♥
どうかな？
真冬♥
誠意って…
どうすれば…？
へへ♥
それはね♥
は…
ちゅぱ♪
だめぇ…
ちゅぷぷぷ♪


あは♥
来た来た♥
ほら♥
何て言うんだっけ？
真冬♥
提示された
条件それは――
三日間
コイツの
従者となる事
未熟な…
従者にどうか…
ご指導を…
お願い致します…
うんうん♥
ぎこち無いけど
まぁいいでしょ♥


なぁんだぁ♥
お風呂入って
来たのぉ？
そういう所が
ホント
気持ち悪いのよ…
僕真冬の汗の匂い
嗅ぎたかった
のになぁ♥
まっ♥これから
たっぷり汗をかかせて
楽しむんだけど♥
っ！
そんなに
怒らないでよ♥
ほら真冬♥
調子に乗んな…
あは♥
気が強いなぁ♥
気の強い女性は
大好物だよ♥
どうせ最後は
僕に負けちゃうん
だけどねぇ♥
あっちょっ
痕付けないでっ

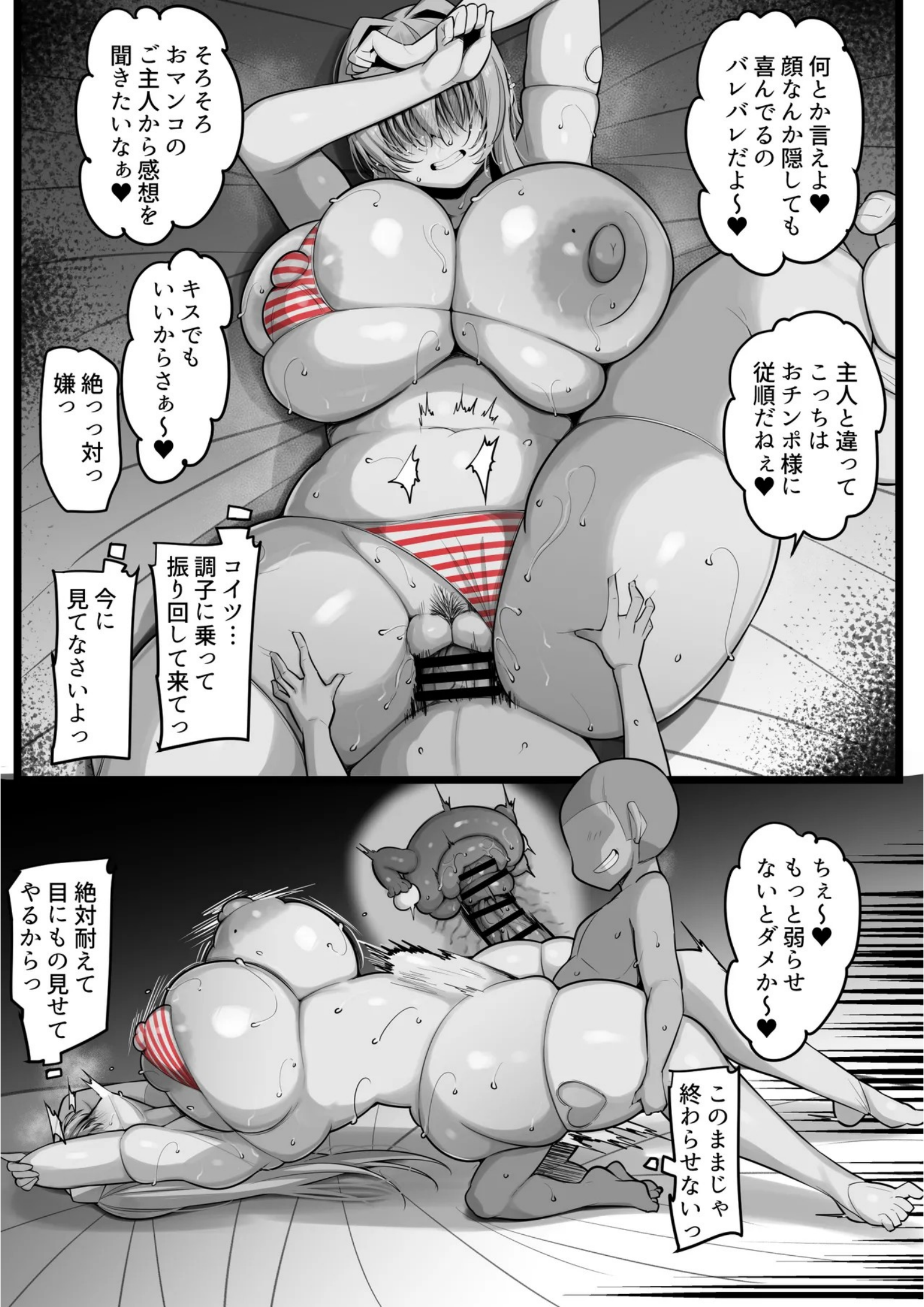

あは♥
二つも
付けちゃった♥
でも僕のモノ
なんだから
良いよね♥
最悪…
ひゃうっ!?
なっなにっ!?
大丈夫♥
ただのローション
だよ♥
真冬の
綺麗な肌に
しっかり
塗り込んで
あげるな♥


乳輪がぷっくりしてきた♥
相変わらずねっちこい触り方…
あえて乳首を外して来て…ほんっとムカつく…
あは♥良い声になって来たね♥真冬♥
やばっ…このままじゃ…
気持ち良い事いっぱい教えてあげるよ♥
先ずは手始めに――
乳首でイケ♥
この隙にエロ腋にもキスマーク♥
ほらほら♥この機会に
乳首イきしっかり覚えろよ♥

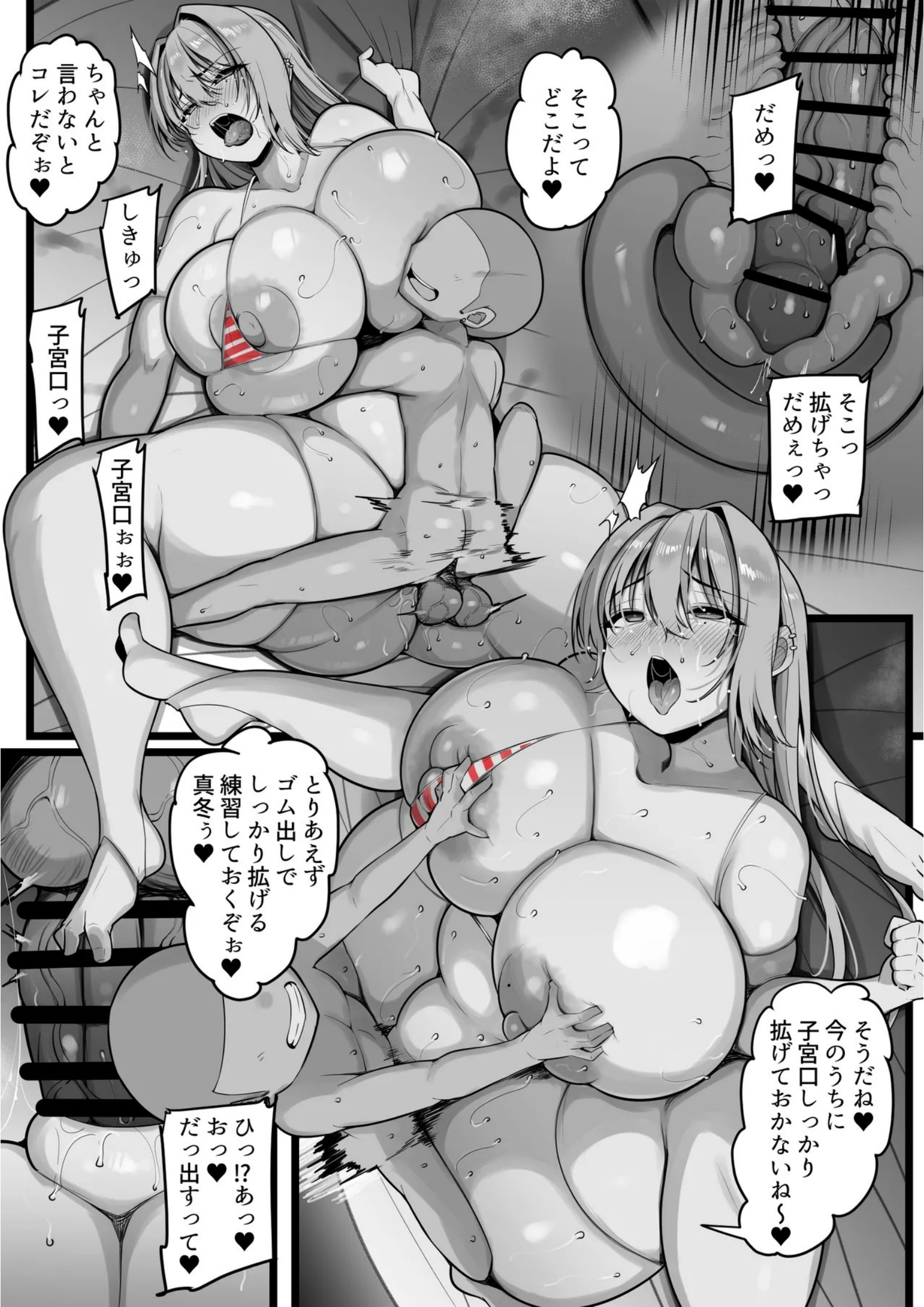

うそ…
アタシ…
乳首だけで……
真冬がスケベ
過ぎて僕も
我慢できないよ
っ!?
ちょっ
どこでこすってっ
でっか……
冗談でしょ…?
いいじゃん♥
真冬も
気持ちいいしょ♥
んなわけ
ないでしょ…
このキモガキ…


あんたっ
いつまで
やってるのよっ
いい加減に……
ようやく
皮むけたぁ♥
う…うそ
冗談でしょ!?
あれっ!?
それじゃあ♥
真冬のエロエロ
おマンコ
まって
こんなの…
ほぉら♥
特性サイズのゴム
付けたよ～♥
いただきまぁす♥
中を
全部削って
押し入って来るっ


奥まで開通♥
入れただけで何回もイったでしょ♥真冬～♥
イって…ない…
あは♥ホントにぃ？少なくともデカいの3回
小さいの8回くらいはイったでしょ♥
でか今もイってるし♥
全部バレてる…
声抑えても♥おマンコ跳ね回ってるから丸わかりだよ～♥
大外れよ…
ふぅん♥あっそ♥
いいも～ん♥
こっちマンコに聞くから♥


何とか言えよ♥
顔なんか隠しても
喜んでるの
バレバレだよ～♥
そろそろ
おマンコの
ご主人から感想を
聞きたいなぁ♥
主人と違って
こっちは
おチンポ様に
従順だねぇ♥
キスでも
いいからさぁ～♥
絶っっ対っ
嫌っ
コイツ…
調子に乗って
振り回して来てっ
今に
見てなさいよっ
ちぇ～♥
もっと弱らせ
ないとダメか～♥
このままじゃ
終わらせないっ
絶対耐えて
目にもの見せて
やるからっ


二時間後
あれれ～？
またトンじゃったぁ？
僕まだ全然本気出してないのになぁ♥
あは♥
おはよう♥
真冬♥
そ～ら♥
目覚ましピストンだぞぉ♥
次は何分持つかなぁ♥
いつになったら終わるのよ…
何回イっちゃったろうねぇ♥
真冬ぅ♥
イっへ…らい…
やばっアタシまた意識トンでた…
あは♥
ま～だ言ってるよw
イキ過ぎて潮も吹けなくなってるくせにさ♥


だめっ♥
そこってどこだよ♥
ちゃんと言わないとコレだぞぉ♥
しきゅっ
子宮口っ♥
そこっ拡げちゃっだめぇっ♥
子宮口ぉぉ♥
そうだね♥今のうちに子宮口しっかり拡げておかないね～♥
とりあえずゴム出しでしっかり拡げる練習しておくぞぉ♥真冬ぅ♥
ひっ!?あっ♥おっ♥だっ出すって♥

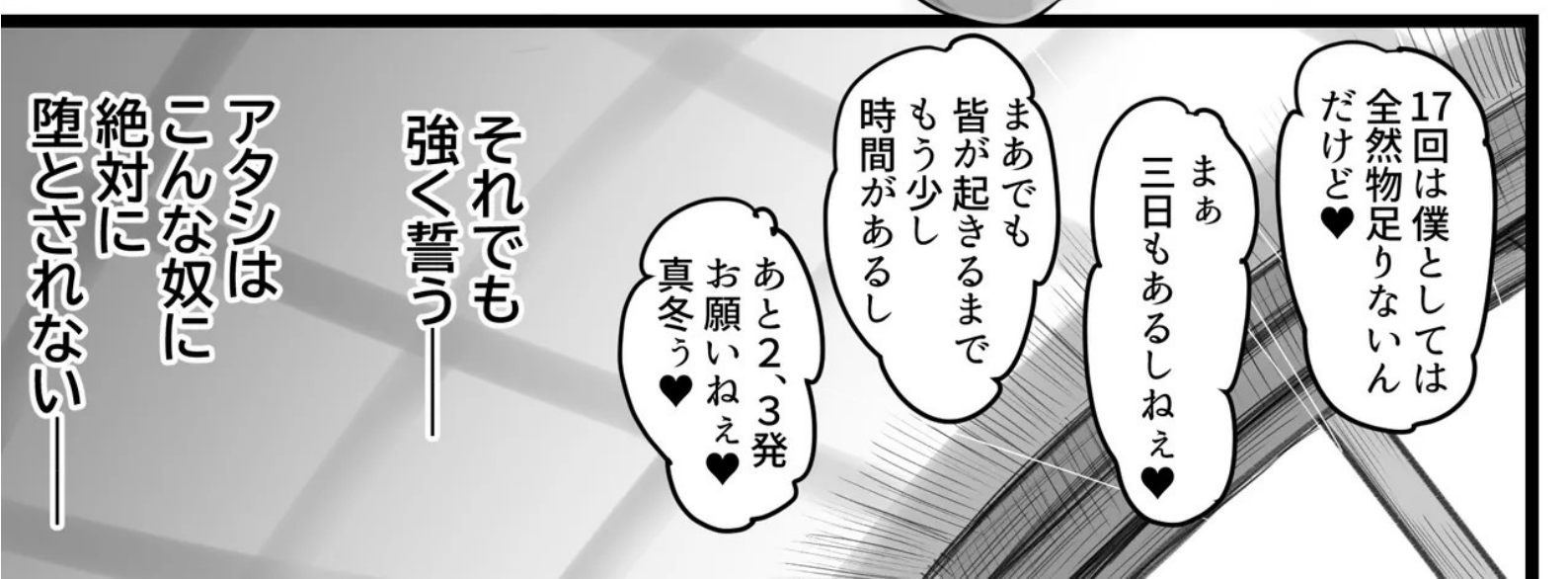

ゴム出しで孕め♥
このエロ従者♥
あ～♥すっげぇ出る♥
おらぁ♥ダメ押し～♥


真冬の初搾り精子♥
こんなに搾り採られちゃった♥
何度も奥までほじくり回されて…
膝も腰もガクガク…
でもこれでようやく…
早くこの汗…流したい…
あれぇ？もうもしかして終わったと思ってるぅ♥
っ!?
あは♥この僕がこれで終わりな訳無いでしょ
うそっ今出したのにっ

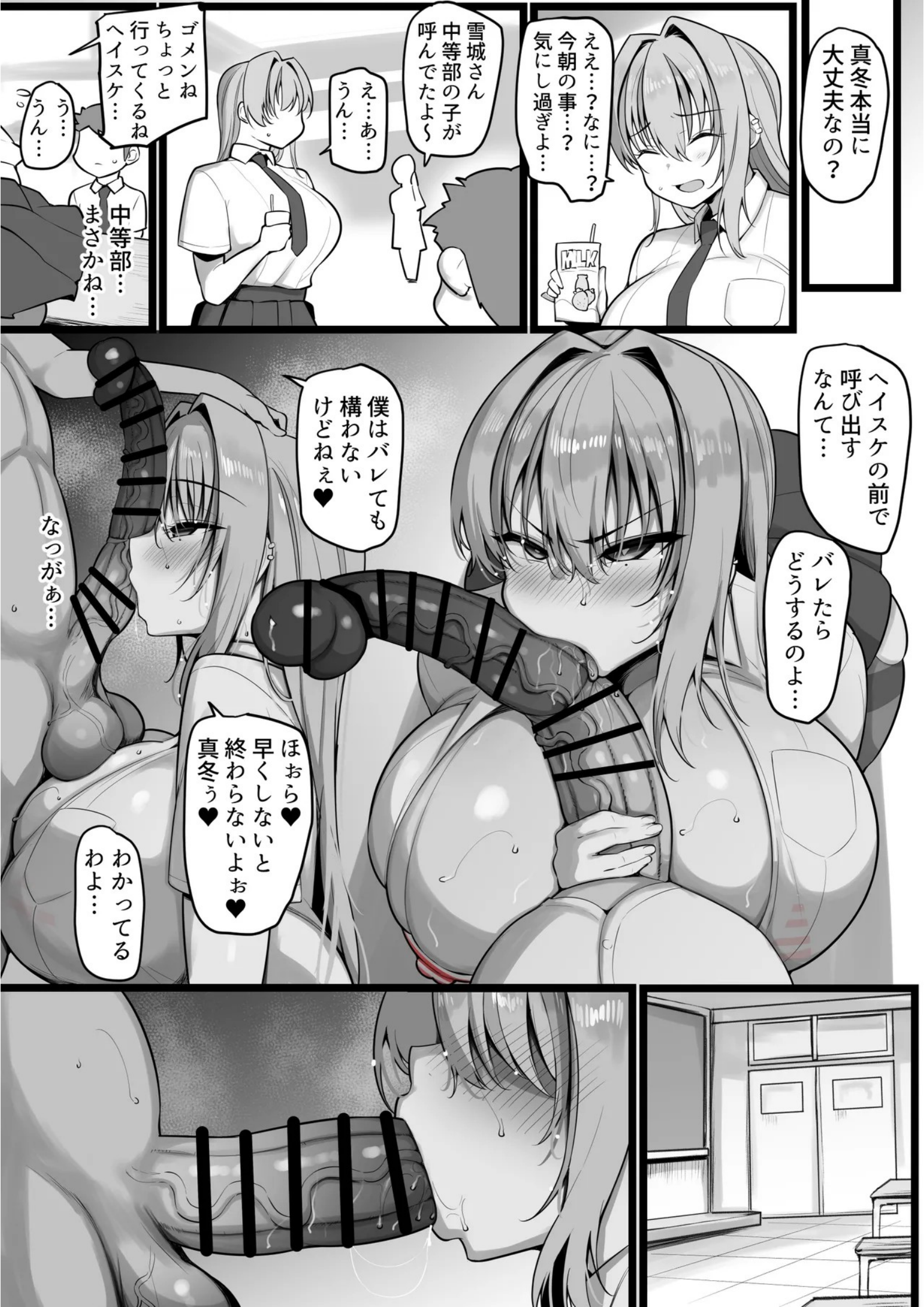

おっきくて綺麗なお尻だねぇ♥真冬♥
すべすべで良い手触りだなぁ♥
一晩中撫でまわしたり頬ずりしたりキスマークだらけにしたいなぁ♥
先っぽ…
さぁて♥真冬は朝までに何発チンポ抜けるかなぁ♥
一気にっ…
最低20回はするから頑張ってねぇ♥
コイツがさっきまで以上に激しく突き出したと同時に
アタシの記憶は更に飛び飛びになった…

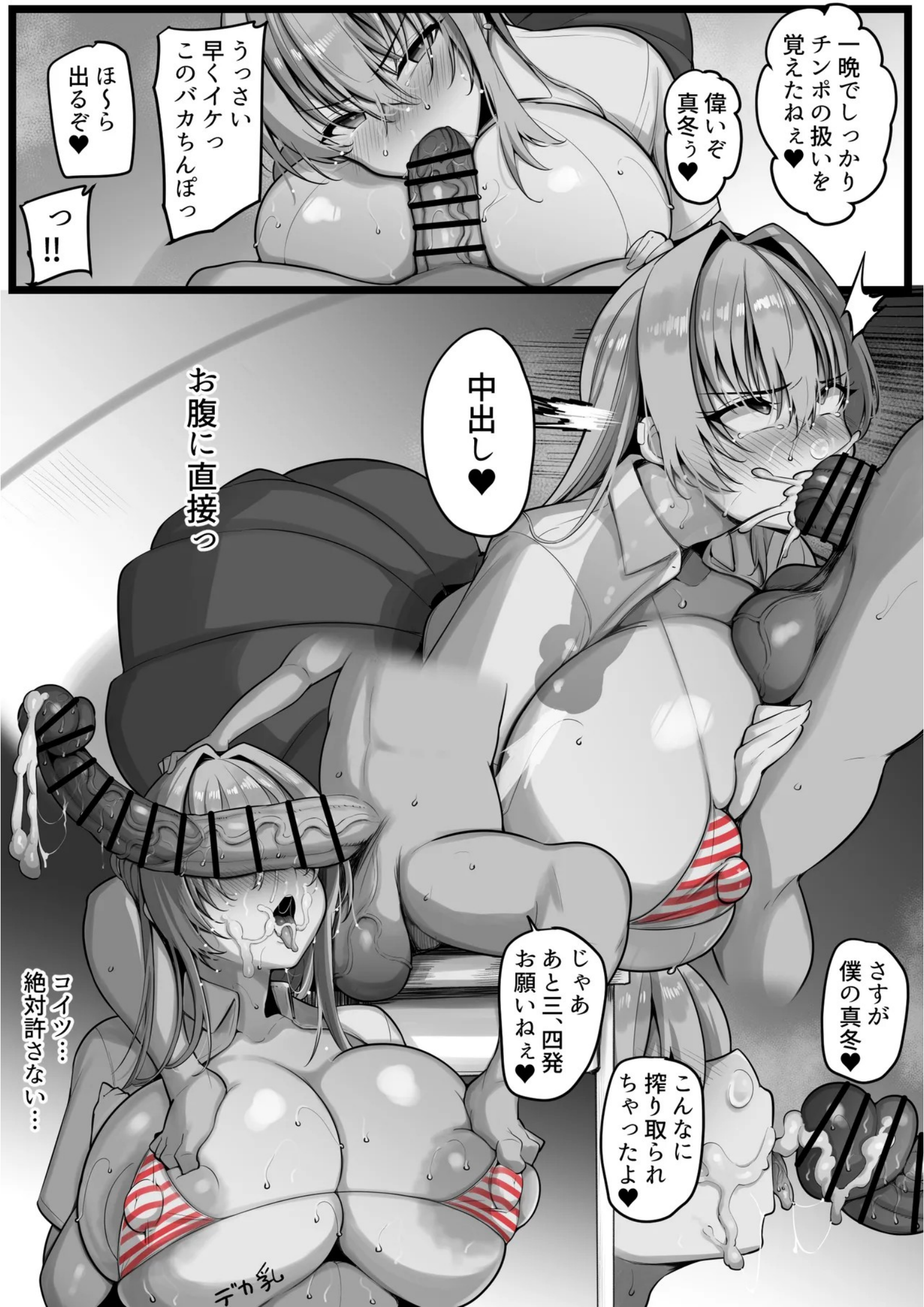

後で見せられた
録画動画には
凶悪なチンポに
ひたすら無様に
鳴かされるアタシ…
あんなに
嫌がってた
キスにも応じ…
ほら♥
もっとカメラに
見える様に
拡げろよ♥
ふぁい…♥
潮も吹けなくなって
パクパクと痙攣する
尿道と膣穴を
曝け出す姿はまるで
チンポに屈服して
媚びて
いるようだった…
さぁて♥
ちょっとペースを
あげるよぉ♥
頑張って
チンポ抜くんだよ♥
真冬ぅ♥

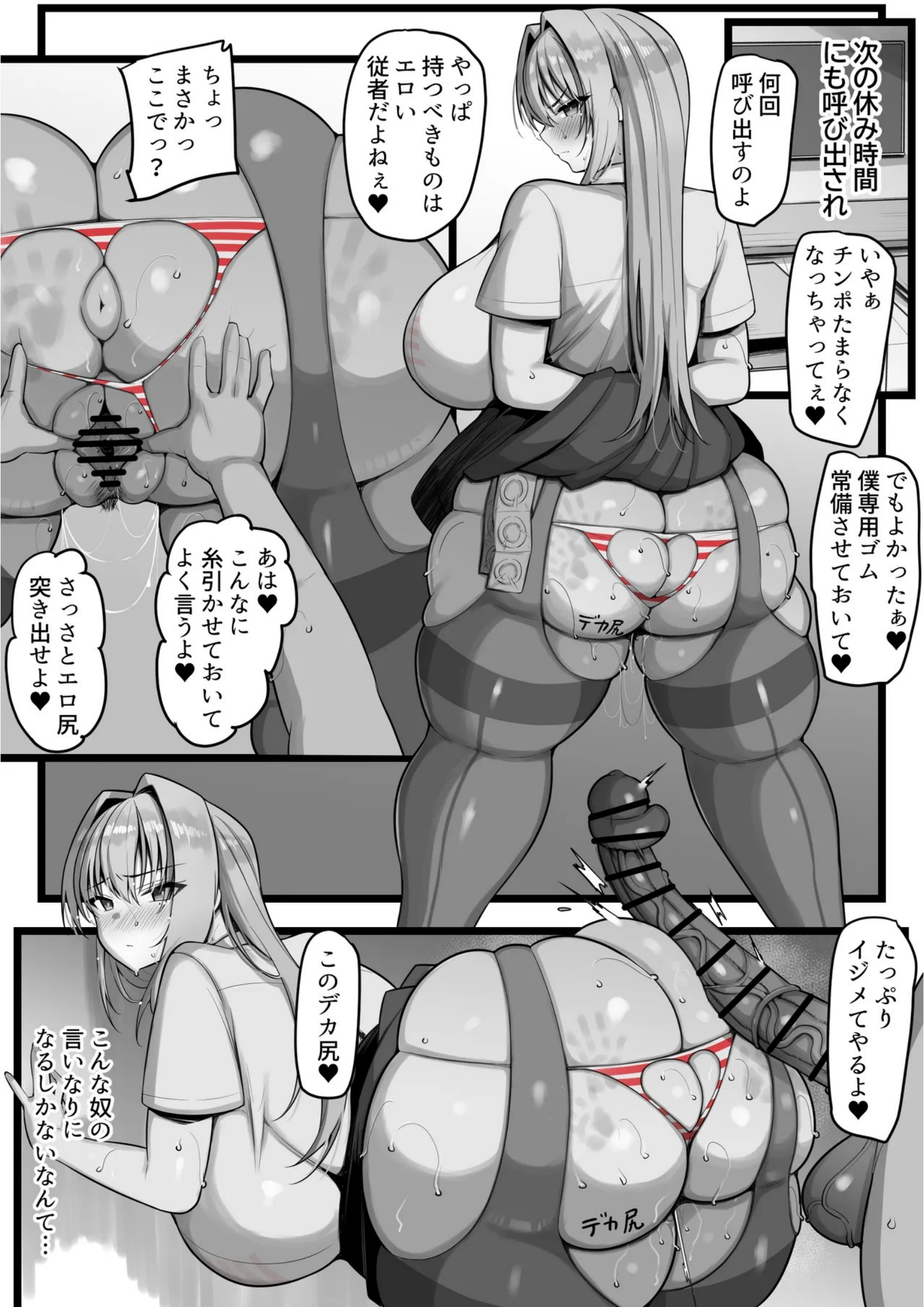

あは♥観てよ♥
言われなくても
チンキス♥
一晩でずいぶん
チンポ様が気に入った
みたいだねぇ♥
真冬ぅ♥♥
一晩かけて
コイツの強さを
嫌というほど
味わわされた
あとで
この映像も観せて
やるからねぇ♥

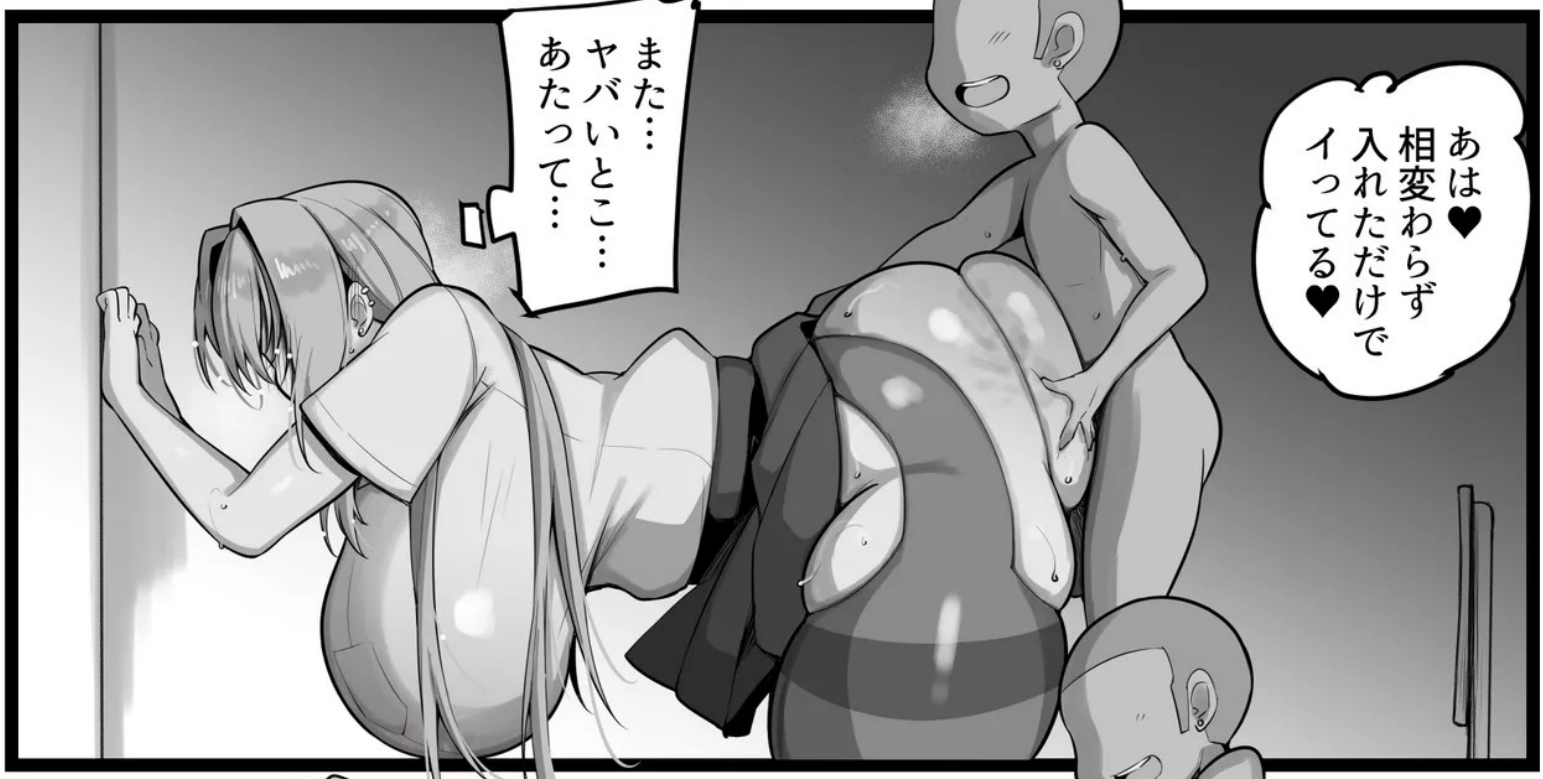

17回は僕としては
全然物足りないん
だけど♥
まぁ
三日もあるしねぇ♥
まあでも
皆が起きるまで
もう少し
時間があるし
あと2、3発
お願いねぇ♥
真冬ぅ♥
それでも
強く誓う——
アタシは
こんな奴に
絶対に
堕とされない——

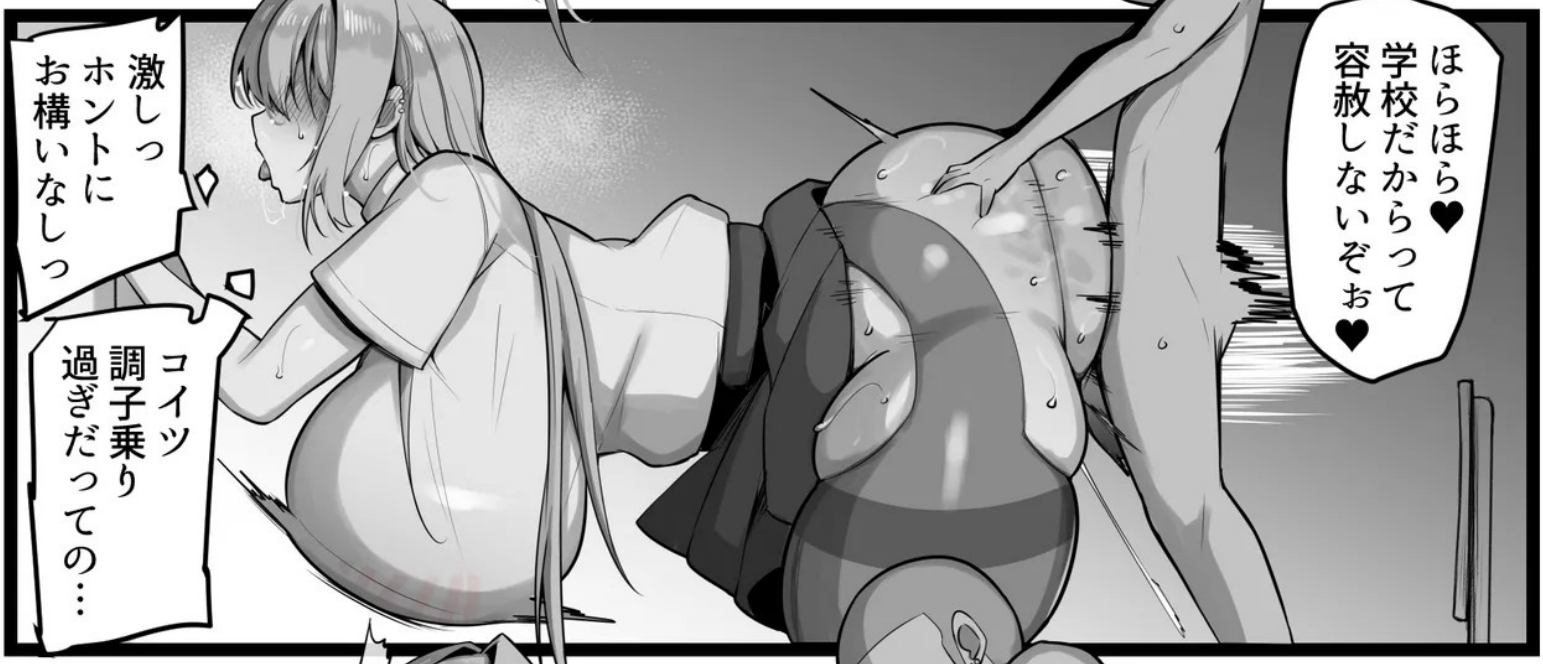

今日も良い朝ですねぇ♥
義兄様♥
ほ～ら♥行くよ♥真冬♥
何が…真冬だ…
ゴウタ君…ちょっと…近いんじゃ…
ふぇ？何がですかぁ？
たはは…
へ…ヘイスケ…大丈夫よ…
や…やば…アタシ…
まだ膣内痙攣してて…
あは♥抱き付かれただけでイったのかよ♥
ちょっとしたスキンシップよ…これくらい…
真冬が…そう言うなら…
ほらほらあんまり潮吹くと義兄様達に気がつかれちまうぞ♥


真冬本当に大丈夫なの？
ええ…？なに…？今朝の事…？気にし過ぎよ…
雪城さん中等部の子が呼んでたよ～
え…あ…うん…
ゴメンねちょっと行ってくるねヘイスケ…
う…うん…
中等部…まさかね…
ヘイスケの前で呼び出すなんて…
バレたらどうするのよ…
僕はバレても構わないけどねぇ♥
なっがぁ…
ほぉら♥早くしないと終わらないよぉ♥真冬ぅ♥
わかってるわよ…


一晩でしっかり
チンポの扱いを
覚えたねぇ♥
偉いぞ
真冬ぅ♥
うっさい
早くイケっ
このバカちんぽっ
ほ～ら
出るぞ♥
っ!!
中出し♥
お腹に直接っ
さすが
僕の真冬♥
こんなに
搾り取られ
ちゃったよ♥
じゃあ
あと三、四発
お願いねぇ♥
コイツ…
絶対許さない…
デカ乳


次の休み時間にも呼び出され
何回呼び出すのよ
いやぁチンポたまらなくなっちゃってぇ♥
でもよかったぁ♥僕専用ゴム常備させておいて♥
やっぱ持つべきものはエロい従者だよねぇ♥
ちょっまさかっここでっ？
あは♥こんなに糸引かせておいてよく言うよ♥
さっさとエロ尻突き出せよ♥
デカ尻
たっぷりイジメてやるよ♥
このデカ尻♥
こんな奴の言いなりになるしかないなんて…
デカ尻


また…
ヤバいとこ…
あたって…
あは♥
相変わらず
入れただけで
イってる♥

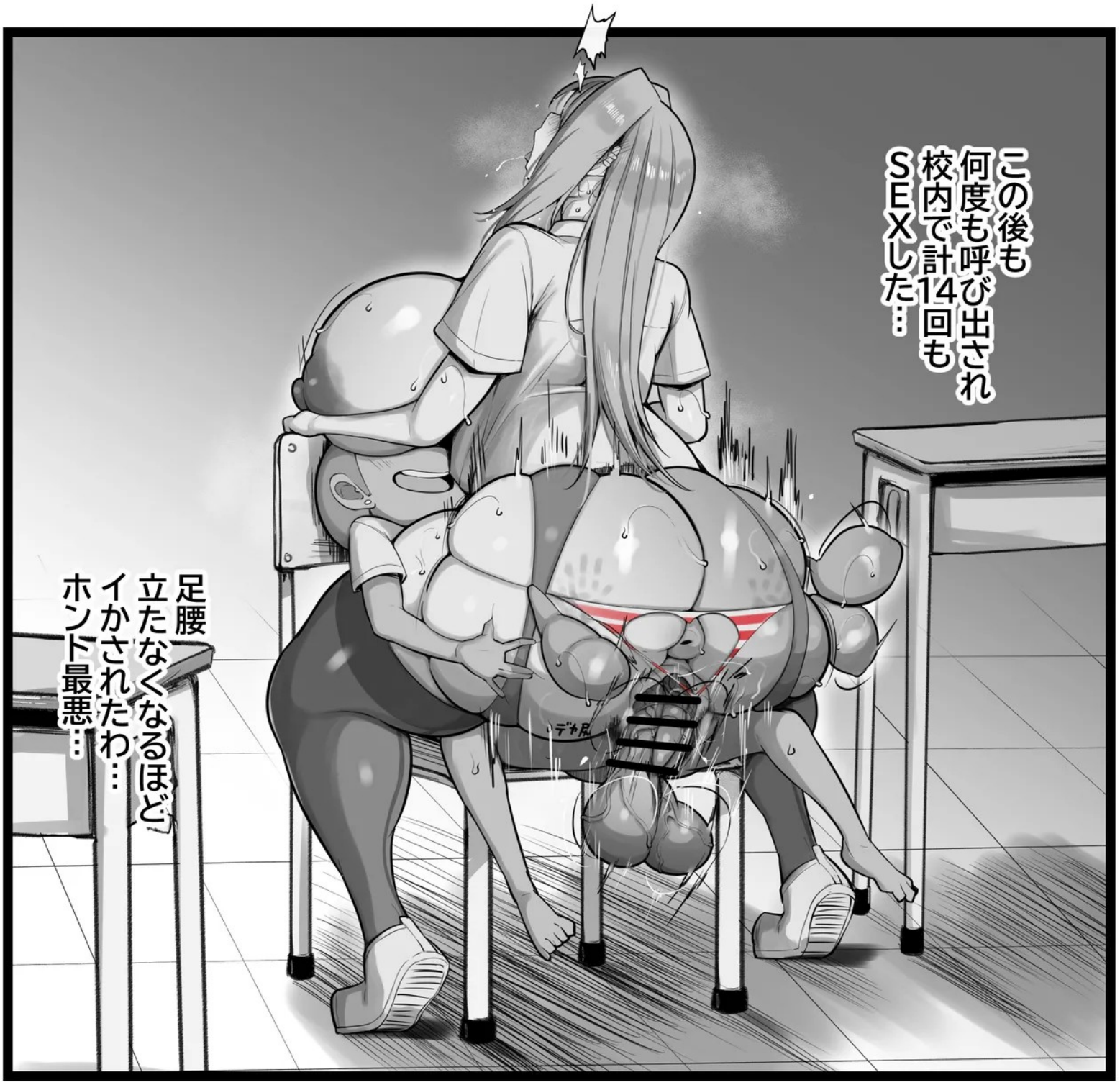

激しっ
ホントに
お構いなしっ
ほらほら♥
学校だからって
容赦しないぞぉ♥

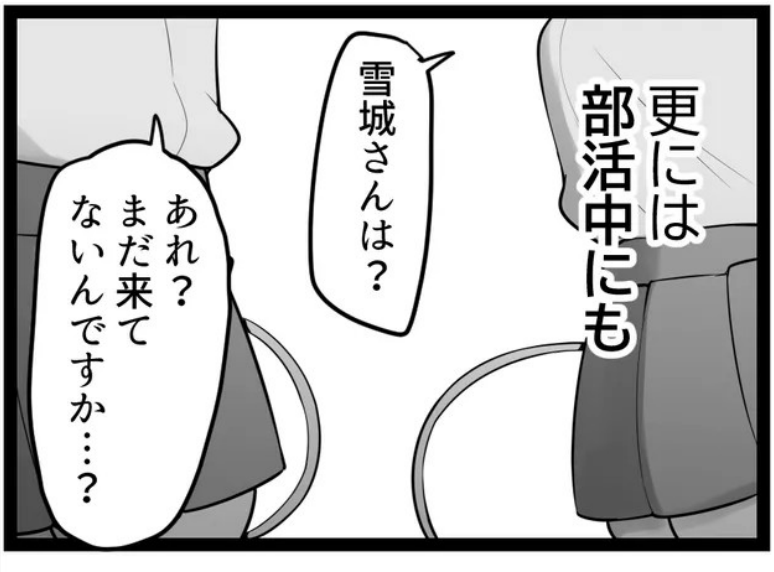

コイツ
調子乗り
過ぎだっての…
ちょっと
ホジくっただけで
ガックガク♥♥
こうやって
奥をズコズコ
されるとイキまく
るんだよねぇ♥
一晩で完全に
アタシの身体
把握されてるっっ

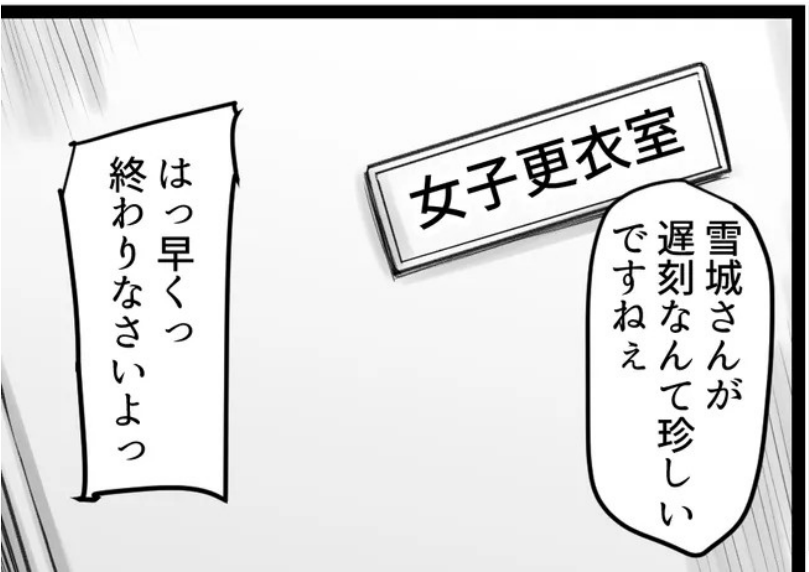

ほ？
真冬ちゃんやん
お～い
っ!!
そないなトコで何してるん？
あは♥見つかっちゃったねぇ♥
ほら返事してやれよ真冬ぅ♥
まっまって…
そんな余裕っないっっ
そこやばっ♥
イクっ♥
義兄様たちに見て貰えよ♥
ほ～ら♥たっぷり出るぞぉ♥
??変やねぇ聞こえてへんのやろか？
……
あは♥ケツ穴パクパクエロいなぁ♥
こっちも絶対奪ってやる♥

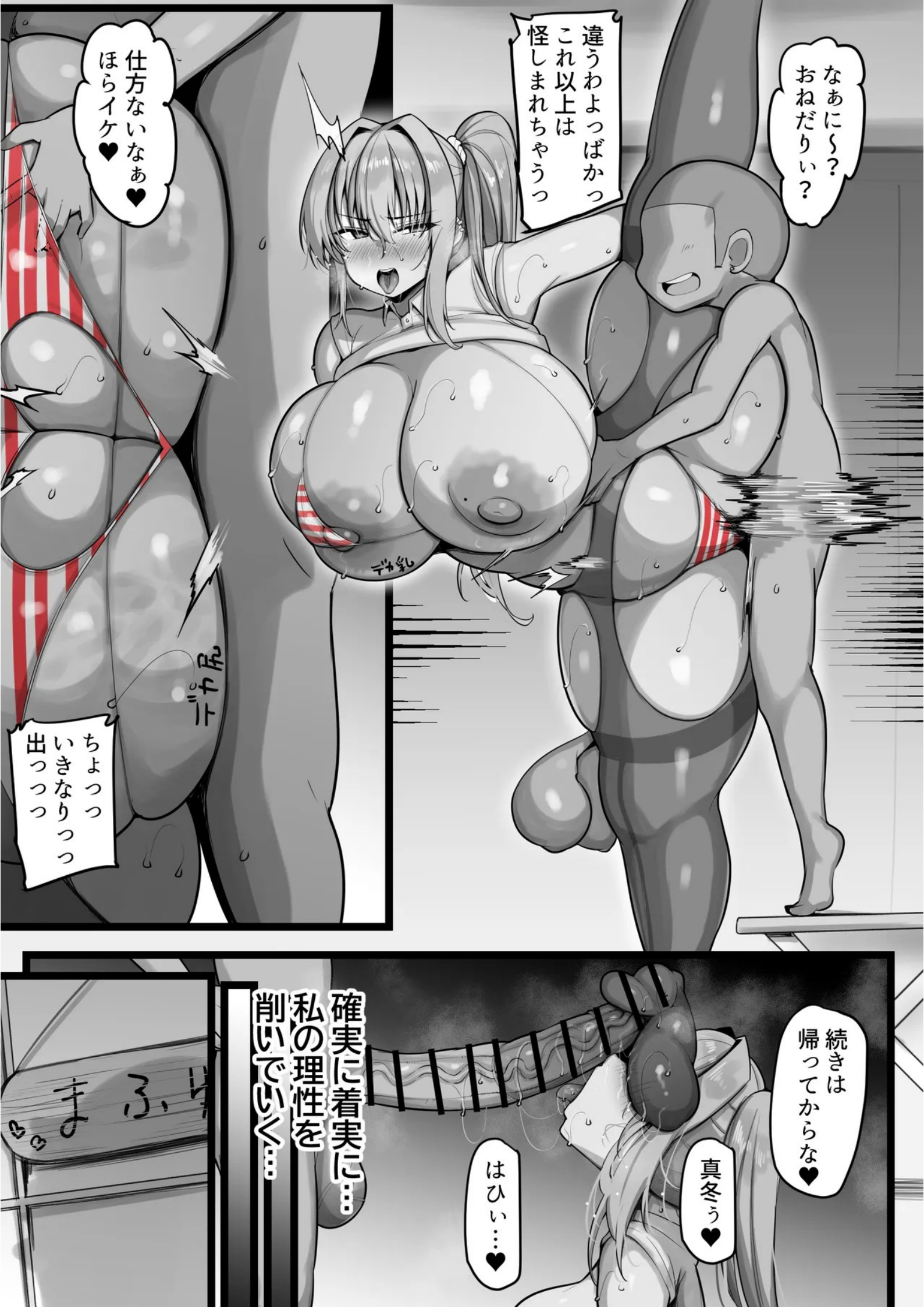

あっつっ♥
孕め♥
ありゃ？
見えんなって
しもた…
ま～た
お漏らし
してんのかよ♥
どうしたん
やろか？
ヤバいくらい…
イったぁ…
まだまだ
イクぞ～♥
デカ尻


更に次の休み時間も…
デカ尻
撮るよ～♥真冬～♥
ほぉら♥笑顔笑顔～♥
悪態ついてもイキまくって足腰ガクっガク♥
何回僕にイかされちゃったんだろうねぇ♥
覚えて…なさいよ…
このエロガキ…
うっさい…死ね…
ムカつくけど…死ぬほどイかされた…
デカ乳
エロくてかわいいなぁ♥僕の真冬は♥
ちょっ!?まだするのっ??
当たり前じゃん♥主人の命令は絶対だよぉ真冬♥
っ……


この後も
何度も呼び出され
校内で計14回も
SEXした…
足腰
立たなくなるほど
イかされたわ…
ホント最悪…


更には
部活中にも
雪城さんは？
あれ？
まだ来て
ないんですか…？

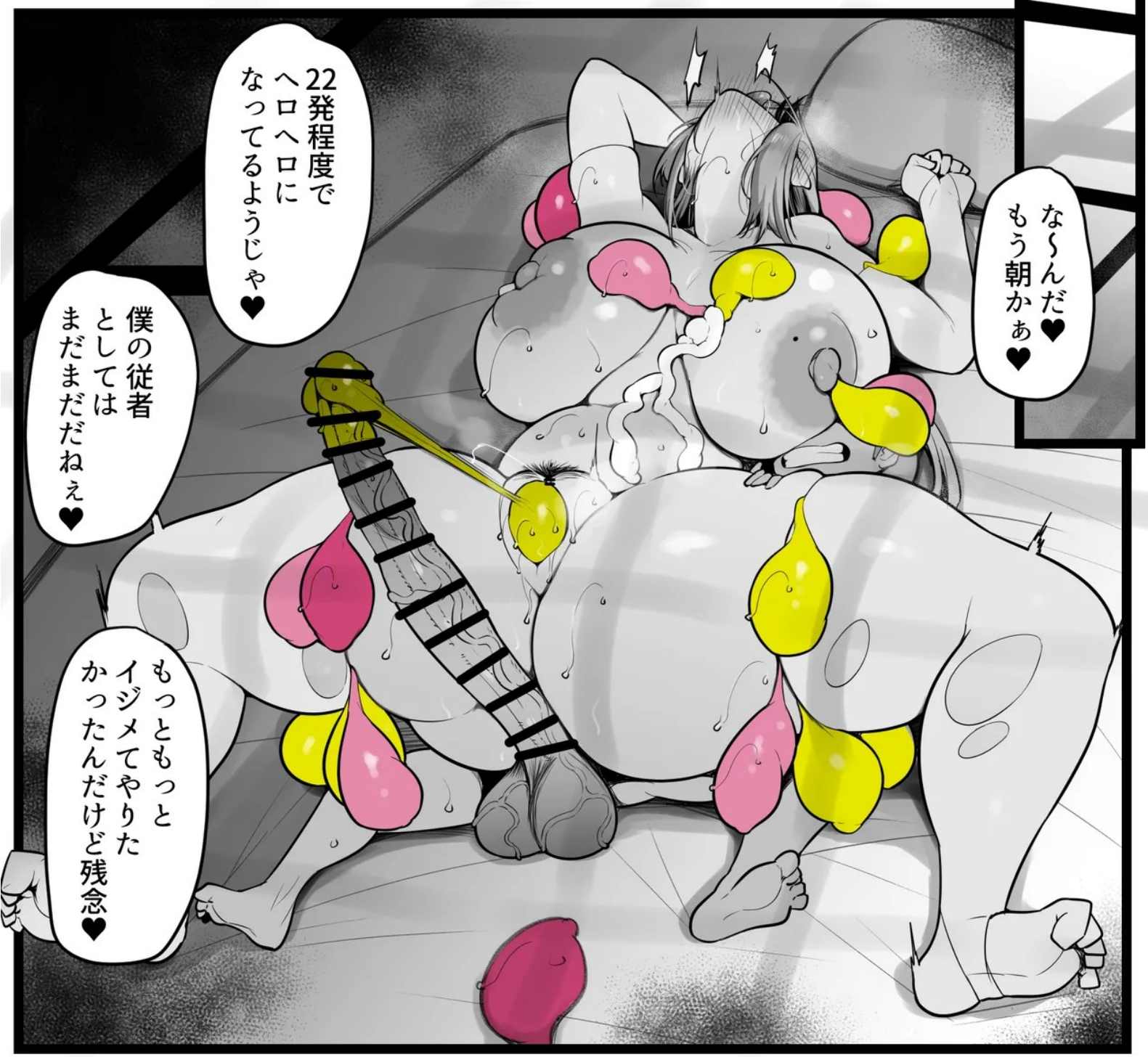

女子更衣室
雪城さんが
遅刻なんて珍しい
ですねぇ
はっ早くっ
終わりなさいよっ


なぁに～？
おねだりぃ？
違うわよっばかっ
これ以上は
怪しまれちゃうっ
仕方ないなぁ♥
ほらイケ♥
デカ乳
デカ尻
ちょっっ
いきなりっっ
出っっっっ
続きは
帰ってからな♥
真冬ぅ♥
はひぃ…♥
確実に着実に…
私の理性を
削いでいく…


真冬
起きてる？
ちょっと
話せるかな…
へ…
ヘイスケ…？
どうか…
した…
のおっ♥
っ真冬っ？
大丈夫っ？？
う…うん…
なんでも…
ない…
ちょっと
部活張り
切り過ぎちゃって…
そ…
そう…
あは♥
糸引きえっろ♥
興奮し過ぎだろ
エロ従者♥


義兄様の前だからって手加減しないぞぉ♥
様子が変で気になってたんだ…
やばっ音っ…バレちゃう…
全然いつも通りじゃない…変なヘイスケ
コイツヘイスケの前でもお構いなしにっ
え…あ…でも…
ほら早く寝ないとまた寝坊するわよ…
う…うん…
僕の考えすぎか…？
おやすみ真冬…
そうだ…きっと考えすぎだ…
まっまってまだヘイスケが近くにっ♥
おらおら♥昼間みたいにもっと下っ品っに鳴けよっ♥


あの真冬がそんな訳…
ほぉら♥出るぞ♥
デカケツと子宮で受け止めろ♥デカ尻従者♥
真冬イキ過ぎ♥
あは♥すっごい出る♥
射精長すぎっ♥
あ～♥早く生出しして無様に孕ませたいなぁ♥
でもそれは最終日のお楽しみっと♥
今日は昨晩ほど優しくないぞぉ♥覚悟しろよ♥真冬ぅ♥


な〜んだ♥
もう朝かぁ♥
22発程度で
ヘロヘロに
なってるようじゃ♥
僕の従者
としては
まだまだだねぇ♥
もっともっと
イジメてやりた
かったんだけど残念♥


まっ
残った精子は
それは夜まで
取っておこっと♥

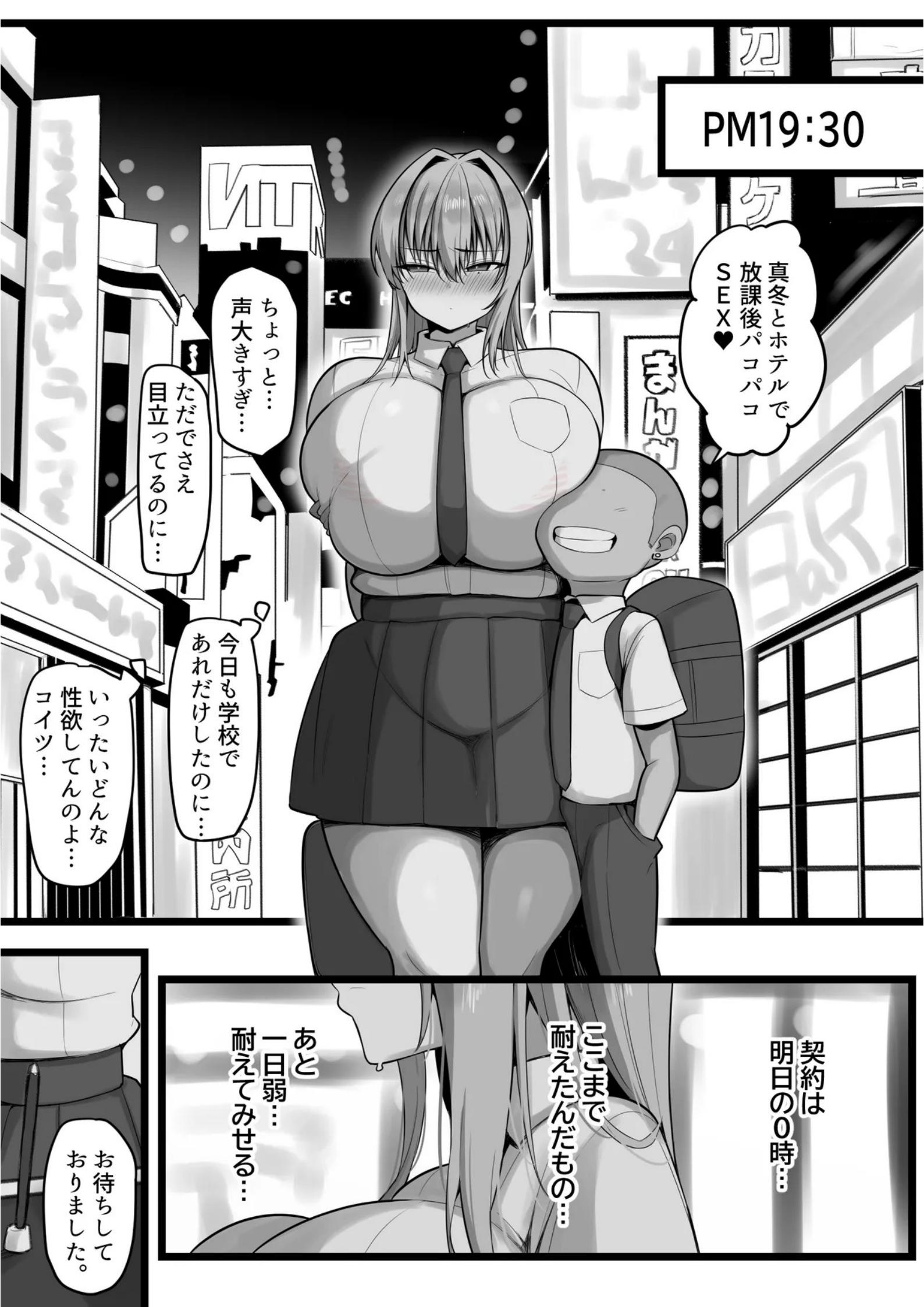

今日も
清々しい朝ですねぇ♥
義兄様♥


おら♥
ノロノロ歩くなよ♥
真冬ぅ♥
さっさと
行くぞ♥
ちょっ!?
ちょっと
ゴウタ君っ!!
真冬ちゃんっ?
大丈夫?
何をっ!?
何って?
ちんたら
してる従者に
喝を入れて
やったんですよ♥
本家王神では
普通ですよぉ♥
そ…
そんなわけ…
そうだよなぁ♥
真冬ぅ♥
こいつ…
ヘイスケ達
の前で…
はひぃ
はひぃ
え…
ええ…
心配しないで…
全然平気…
絶対
負けないから…
真冬……


保健室
おらおら～♥
何やってんだよぉ♥


もっと下品に腰振れよ♥雑魚従者ぁ♥
は…はひぃ…♥


あは♥出る♥
放課後
楽しみだなぁ♥


PM19:30
真冬とホテルで放課後パコパコSEX♥
ちょっと…声大きすぎ…
ただでさえ目立ってるのに…
今日も学校であれだけしたのに…
いったいどんな性欲してんのよ…コイツ…
契約は明日の0時…
ここまで耐えたんだもの…
あと一日弱…耐えてみせる…
お待ちしておりました。

雪城真冬

MAFUYU　YUKISURO

B１０３W６３H９９
１６２
音虎学園二年生
テニス部エース
王林家に代々仕える
雪城家の三女
幼少からヘイスケに
仕えているが実際は
幼馴染の姉弟のような関係
主人であるヘイスケには
従者として線引きしているが
日々自身を揺り動かす本心に
歯がゆい思いをしている
気が強く素直になれない性格
趣味は可愛い物集め



日暮日葵

HIMARI　HIGURASHI

B１１８W６８H１１２
１６８
音虎学園教師
新体操部顧問
日暮家長女で
他の三人と同時期に従者として
ヘイスケに仕える(当時高校生)
母性が強くダメな学生を
量産している
あまり母性が強いため
ヘイスケに対して暴走する事も
しばしば…



咲春桜花

OUKA　SAKIHARU

B１１１W６０H１０１
１７２
音虎学園三年生
剣道部主将
咲春家次女
真冬らと同時期にヘイスケへ
従者として仕える
主に彼の警護を務める
人に厳しい一面を見せるが
自分には更に厳しい
だがヘイスケにはどこか
甘くなってしまうのは
自覚していない
才色兼備で学園でも
皆の憧れの存在



秋風紅葉

MOMIJI　AKIKAZE

B１１２W６５H１０７
１５８
音虎学園二年生
水泳部エース
秋風家の長女
真冬達と同時期から
ヘイスケの従者として彼の
身の回りの世話をして来た
同い年の真冬とは
最も気安い関係
ヘイスケは弟ように思いつつも
近頃は別の感情を抱き始める
常に柔らかな物腰で相手を
包み込む

